

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	情報提供の充実と市民ニーズの把握			総合計画コード	643
部名	市長公室	主管課名	市政情報課	主管課部課コード	10600
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす 目的成果	市が保有する行政情報を市民に提供し、市民ニーズを幅広く収集できる体制が整えられている。							
施策概要	公共サービスの情報発信ツールとして、広報紙やホームページの他に、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを活用。それぞれの特性を活かした迅速で効果的な情報提供を行う。広聴事業では市政モニター制度の充実を図るとともに、市への意見・要望やパブリックコメントの活用により市民ニーズを幅広く収集し、市民と行政の情報共有を図る。							
個別計画 関連計画	計画名称		計画期間	H	年度	～	H	年度
				H	年度	～	H	年度
				H	年度	～	H	年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	・市への意見・要望の制度により、市民等から直接意見を聴いた。 ・市政モニター制度により、市政モニターに対し、アンケート調査を実施した。 ・ホームページ及びツイッター、フェイスブック、メール配信サービスにより行政情報等を発信するとともに、緊急的な情報は防災行政無線により発信した。 ・すまいるエフエムのラジオ番組で、市からのお知らせや市内で行われたイベントについて放送した。 ・統計あさかを発行し、公共施設に設置するとともにホームページに掲載した。また、一部のデータについて、オープンデータとして埼玉県サイトに掲載した。 ・会議公開制度を適切に実施するため、ホームページに会議録、会議資料を掲載した。					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	広報紙、市ホームページなどで災害に対する日頃の備えなどの情報提供を行うとともに、緊急的な情報は、防災行政無線や市ホームページなどにより情報発信を行った。				
	子育てがしやすいまち	広報紙、市ホームページ、メール配信サービスなどで子育てに関する情報提供を行った。				
	つながりのある元気なまち	広報紙、市ホームページなどで地域や全市的なイベント、市民活動などの情報提供を行った。また、市政モニターに対し、アンケート調査を実施した。				
	自然・環境に恵まれたまち	広報紙、市ホームページなどで自然や歴史に関する情報提供を行った。また、市政モニターに対し、アンケート調査を実施した。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		127,736	—	—	—	—

指標名 (説明)		単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
			目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
			実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
①	広報あさか発行部数	部	65,500	65,500	67,000	67,000	67,000
	(説明) 毎月1日に発行する広報紙の発行部数		66,100	—	—	—	—
②	ホームページへのアクセス件数	件	850,000	900,000	900,000	900,000	900,000
	(説明) 年間あたりの朝霞市のホームページへのアクセス件数		910,000	—	—	—	—

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	☐ A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) ☐ D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) ☐ B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) ☐ E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) ☒ C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) 広報あさかについて全戸配布を実施できた。 統計あさかを発行し、ホームページで公開しているほか、一部をオープンデータとして埼玉県ホームページに掲載した。 会議公開について、会議録、会議資料をホームページに掲載した。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	☐ A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある ☐ D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある ☒ B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある ☐ E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある ☐ C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 住民ニーズが多様化する中で、市政の透明性を推進し、市民と情報の共有を図るため、今後とも積極的に行行政情報を公開する必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 広聴制度を充実するため、市政モニターの人数を増やす必要がある。 行政情報の発信や提供については、全戸配布を実施している広報あさかのほかにホームページやフェイスブック、メール配信サービスなどを活用しているが、いかにして利用者を増やすか工夫する必要がある。

4. 今後の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 ☒ 重点化 ☐ 内容の見直し						
	(説明) 広報あさかの全戸配布を継続するとともに、読みやすい広報となるよう引き続き編集を工夫する。また、市政モニターについては人数の増加を目指し、パブリックコメント制度については、当該パブリックコメントの説明会開催事例など各課で実施している当該制度に関する取組状況を全庁的に共有するなど、更なる充実を図る。						
行政と市民の役割分担	☐ Ⅰ 行政の関与(役割)を拡大 ☒ Ⅱ 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 ☐ Ⅲ 市民の関与(役割)を拡大						
	(説明) 広聴制度を充実し、市民の意見や要望を聞く。						
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名		総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
			H27決算	H28決算見込			
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	計 (単位:千円)				—	—	—
☒ 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載							
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【市政モニターへの広報あさかについてのアンケート調査】 「文字が多い」「グラフや写真、絵で表現した方が読者をひきつける」「重点化、レイアウトデザインなど読む気になる工夫が必要」といった意見が出された。						
部長の意見	広報あさかについては、情報の適時適切な掲載をするとともに読みやすく、分かりやすい紙面構成となるよう工夫する。また、情報提供の方法として、ホームページ、フェイスブックなど他の媒体も十分に活用する。市民からの意見聴取の機会となる市政モニター制度やパブリックコメント制度の充実を図り、市政に関する意見を聴取する。						

施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性

施策名	情報提供の充実と市民ニーズの把握			総合計画コード	643
部名	市長公室	主管課名	市政情報課	主管課部課コード	10600
関連部課名	—				

	事務事業名	総コスト(事業費＋人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
	1 広報事業	19,634	24,505	4	4	現状のまま
	2 広報あさか発行事業	49,115	54,326	5	5	現状のまま
	3 統計調査事務事業	2,231	1,498	4	4	現状のまま
	4 国委託統計調査事業	1,836	15,176	4	4	現状のまま
	5 県委託統計調査事業	778	1,510	4	4	現状のまま
	6 広聴事業	2,026	5,358	5	5	現状のまま
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	計（単位:千円）	75,620	102,373	—	—	—

施策を
構成する
事務事業の
次年度の
方向性